

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
2024年 7 月 22 日	
秋田県知事 佐竹 敬久 殿	
提出者	
住 所	秋田市川尻町字大川反233番9
氏 名	株式会社ユアテック秋田支社 執行役員支社長 中西 仁
電話番号	018-862-3821
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社ユアテック秋田支社
事業場の所在地	秋田県秋田市川尻町字大川反233番9
計画期間	2024年4月1日から2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	2023年度 完成工事高 24 億円
③ 従業員数	220人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	事業場→運搬業者→処分業者



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

排出事業場→運搬業者→処分業者

※マニフェストより運搬・処分の適正を確認する

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（2023年度）実績】

別紙のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

3641.59 t

t

(これまでに実施した取組)

現場での廃棄物分別を確実に実施。

再資源化の可能なものはできるだけ再生利用業者へ委託を行った。

② 計画

【目標】別紙のとおり

産業廃棄物の種類

排 出 量

3327.60 t

t

(今後実施する予定の取組)

廃棄物の分別を継続する。

再資源業者への委託を推進する。

工事施工前に、産業廃棄物排出量の削減方法を検討する。

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

工事現場ごとに、各発生物毎に保管場所を区画する等で保管している。コンクリート、アスファルト、木くずは確実に分別。

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

工事現場ごとに、発生物ごとの分別を進め、再資源化率の向上をはかる。

表示等による混入を防止する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 2023 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	3641.59 t	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	1774.98 t	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	処理業者との確実な契約書の取り交わし。 可能な限り、再生利用業者への委託を勧めた。		

② 計画	【目標】別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	3327.60 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1400 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	60.5 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 廃棄物処理は可能な限り再資源化を率先して推進する。 ・ 再生利用が可能な廃棄物については、極力再生利用業者等へ処理委託をするよう努める。 ・ 優良認定処理業者への処理委託を推進する。		
※事務処理欄			

(第2面)

①現状	【前年度（2023年度）実績】																		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混廃(安定型のみ)	石綿含有(安定型)	建設汚泥	紙くず	木くず	廃石膏ボード	混廃(管理型含む)	石綿含有産業廃棄物(管理型含む)	汚泥	廃油		合計
	排出量	1977.18 t	1295.41 t	0.610 t	16.66 t	5.00 t	65.50 t	17.42 t	2.13 t	1.59 t	0.35 t	200.59 t	2.51 t	20.94 t	0.52 t	0.20 t	34.98 t	0.000 t	3641.59 t
②計画	【目標】																		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	混廃(安定型のみ)	石綿含有(安定型)	建設汚泥	紙くず	木くず	廃石膏ボード	混廃(管理型含む)	石綿含有産業廃棄物(管理型含む)	汚泥	廃油		合計
	排出量	1800.00 t	1200.00 t	0.500 t	15.00 t	3.00 t	60.00 t	15.00 t	2.00 t	1.30 t	0.30 t	180.00 t	2.00 t	18.00 t	0.40 t	0.10 t	30.00 t	0.000 t	3327.60 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

[illegible][illegible]

(第4・5面)

[illegible]